2022年度九州大学マス・フォア・インダストリ研究所共同利用・共同研究一般研究一研究集会(I)

学にあける幾何と

Geometry and Algebra in Material Science III



Accessus & Recession

Fu III

* Program

9月8日(木)

12:50-12:55

茂樹(金沢大学) 松谷 12:55-13:55

14:05-15:05 鈴木 俊洋(崇城大学)

休憩 15:05-15:25

15:25-16:25

貴子(京セラ(株)) 16:35-17:45

高橋 卓大(京セラ(株))

産業現場での数学モデル化(現実と数学)について 数学の現象学と専門知論

祐輔(岡山県立大学) インフォマティクス支援ナノスケール材料計算の活用事例 京セラにおける材料科学への数理解析技術の適用事例

Clifford 代数を用いた水素原子の隠れた対称性の解釈

9月9日(金)

祐斗(電気メーカー) 9:40-10:40 伊藤

大森 祥輔(早稲田大学) 10:50-11:50

一般位相空間論を用いた物質の幾何学的構造の表現について 隆広(京都大学)

格子・電子欠陥による局所対称性の破れとトポロジカル・マルチフェロイ

嶋田 12:00-13:00

Polyacetylene: Past and Present

クスの創出

中原 幹夫(近畿大学) 14:20-15:20 15:20-15:35 休憩

平 15:35-16:35

13:00-14:20 昼休憩

16:45-17:45 尾上

順(名古屋大学)

久夫(北海道教育大学) 曲面量子系の多様なナノ物性

1次元凹凸曲面構造を有するフラーレンポリマーの新奇な物理と化学

静的および準静電磁界におけるランダム媒質の均質化について

9月10日(土)

9:30-10:30 Karel Svadlenka(京都大学) 構造材料の弾塑性変形の変分的アプローチによるモデリング 五十嵐 一(北海道大学) 10:40-11:40

11:50-12:50 比留間真悟(京都大学)

12:50-14:10 昼休憩

14:10-15:10 岩本 憲泰(信州大学)

15:20-15:50 垂水 竜一(大阪大学)

舜典(大阪大学) 16:00-16:30 小林

中川 淳一(東京大学) 16:40-17:10

均質化における連分数表示の活用

ロボティクスから挑戦する制御できる曲面 リーマン多様体上の弾性理論とその応用

転位を含む結晶の連続体力学:微分幾何学と変分法に基づく数値計算

FMSP社会数理実践研究(東大数理):結晶の配位数列は準多項式型

クロージング 17:10-17:15

◆ 研究代表者・組織委員

【研究代表者】松谷

小磯 佐伯

主催機関:九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所

E-mail:imikyoten@jimu.kyushu-u.ac.jp

朋之(九州大学)

裕康(佐世保工業高等専門学校) 濵田 松江 要(九州大学) 加葉田 雄太朗(長崎大学)

九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 ハイブリッド開催 Zoom&九州大学IMIオーディトリアム (ウェスト1号館D棟4階413号室)

> 参加にあたっては、下記の参加申込をお願いします。 URL:https://forms.gle/H3rA1D7EmHMGKQtC6



ut singulis applicatis curvæ Algebraicæ iumanturæquaics applicatis digebraica in Logarithmica (cujus subtangens sit __a), & ex iis (productis) of the singulæ abscissæ, ad habendum totidem puncta, incental Algebraicarum numero, cujus subtangens dictam tertiam proportion numero, sujus subtangens dictam tertiam proportion of the singulæ advoque quis constructionem imperatam solius. nalem æquet, frustra quoque quis constructionem imperatam soliu.

Quocirca si in nostra Curva (cujus Acutissimus Geometra præsititi in Funicularia, indagandum prius soret, num Gurva quædam detur Algebraica, quæ subtangentem ha-

beat squod aliis indagandum relinquo, ut levehalexe thodos inversas explorent. Ego ob graves causas suspicor, Curva nomanullius Sectionis Conica seu quadracura seu

茂樹(金沢大学)

落合 啓之(九州大学) 【組織委員】

和俊(東北大学) 深幸(九州大学) 修(九州大学)

白井 垂水 竜一(大阪大学) 久資(名古屋大学) 淳一(東京大学) 中川



